

第 580 回：【3・4 年生向け】学会に行こう（MS）

みなさんこんにちは、火曜日担当の MS です。もうすぐゴールデンウィークですね。みなさんどんな予定がありますか？私はこれまでに積読していた本を読もうと思っています。

さて、みなさんは学会に参加されたことはありますか？「学会って何か怖そう…」だったり、「学部生なのに行ってもいいのかな？」という、漠然とした不安があるかもしれません。かくいう私も、3 年生になるまではそうでした。ですが、実際に参加してみると、それらが単なる思い込みだったことに気が付きました。そこで、今回は卒業研究を始める 3 年生と、卒論の執筆を控えた 4 年生のみなさんを対象に、学会の参加をおすすめしようと思います。

私が考える、学会に行くべき理由は大きく分けて 4 つあります。

1. 最新の研究動向をつかむ

自分がどんなことに関心があるのかわからない場合は、とりあえず関心のありそうな分野の学会に行ってみましょう。その中で「面白い!」と感じた発表があれば、大当たりです。その気持ちを大切にしましょう。関心のある分野がすでに定まっている場合は、その分野の研究動向を把握する目的で参加しましょう。どこまで研究が進んでいて、どこがまだ十分

に研究されていないのかを知ることができます。特に、4 年生のみなさんが卒業研究のトピックを選ぶ際に便利になるかと思います。

2. 発表を見て刺激を受ける

これは発表者が同年代の研究者であった場合に、特に当てはまります。私は負けず嫌いなので、優れた発表を見ると自分の研究に対するモチベーションが高まります。また、発表者がどのようなスライドを作っているのか、どの程度の速さでしゃべっているのかといったことを観察するのもおすすめです。今度自分が発表するときには、自分がそういった発表をできるか自問自答するといいいでしょう。

3. 研究仲間ができる

これは対面で参加して、なおかつ懇親会に参加した場合に当てはまります。もちろん、一人で研究することは研究の大前提です。ですが、研究仲間がいると心強くなります。書いたレポートを送りあって意見交換したり、定期的に勉強会や進捗発表会を開催したりすることで、お互いに高めあうことができます。

4. 質疑応答の方法を学ぶ

建設的な質疑応答の方法は、学校では教えてもらえません。なので、学会はそ

第 580 回：【3・4 年生向け】学会に行こう（MS）

れを学ぶのにぴったりの場面です。まずは、発表者と質問者の間での質疑応答を観察しましょう。どのように質疑応答が行われているのかイメージできるようになったら、「もし自分だったら、そんな質問ができるだろうか」ということを自問自答してみてください。最後に、授業やゼミの時にそれを実践してみてください。

以上、今回は学会の参加についておすすめしました。どんな学会があるかについては、インターネットで調べてもいいし、授業やゼミの先生に直接聞いてもいいと思います。学会の参加が、みなさんが「行動する国際人」になるきっかけになれば幸いです。それでは。